

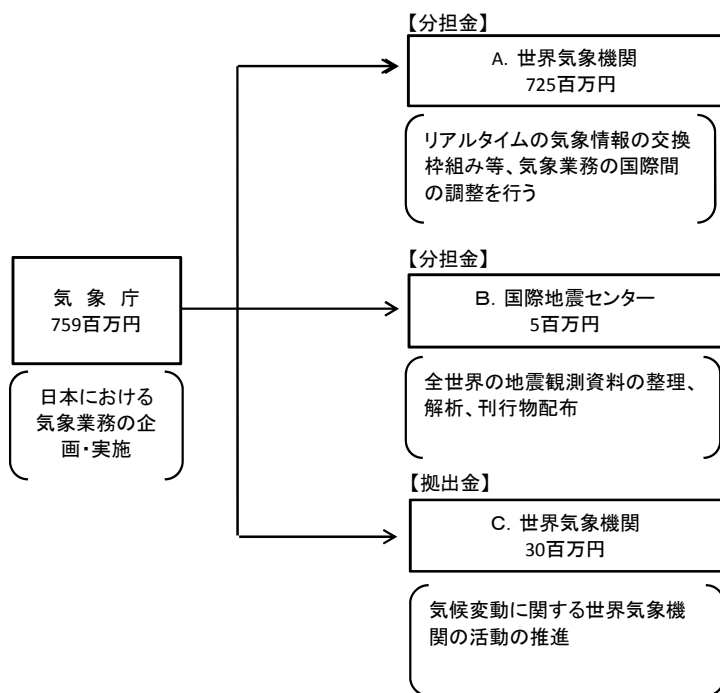
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国際機関への分担金・拠出金		担当部局庁	気象庁総務部 気象庁地震火山部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	S31~		担当課室	企画課 管理課		課長 長谷川 直之 課長 上垣内 修		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法第1条 世界気象機関条約第24条他		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	気象業務に不可欠な気象業務の分野における国際協力を維持発展させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>世界気象機関(WMO)は、気象・水文の観測・予測、データ交換等に関する組織・システムの確立・維持、技術基準の統一、それら業務遂行に係る加盟国の能力向上等についての国際協力及び科学技術活動を推進しており、我が国を含む各国気象水文機関が行う防災・交通安全・産業の交流を支援する業務の円滑な運営には不可欠なものである。</p> <p>国際地震センター(ISC)は、全世界の地震観測データを収集して、統一基準に基づく解析により全球地震活動データセットを作成し、各国の地震業務や研究を行う機関に提供している。長期間にわたり均一・高品質な本データセットは、長期地震活動等の正確な把握や研究活動を支えるものである。</p> <p>本事業は、これらの機関に対する分担金・拠出金を支出するものである。</p>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 状況	当初予算	933	688	759	743	662	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		933	688	759	743	662	
	執行額		933	688	759	-	-	
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本分担金、拠出金は、各国気象機関が集まる国際会議の場で、議論・交渉を経て決定されるため、我が国のみの事情で成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて支出する性格のものではない(我が国は今後も両機関に効率的な運営を求めていく)。			成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本分担金、拠出金は、各国気象機関が集まる国際会議の場で、議論・交渉を経て決定されるため、我が国のみの事情で指標を定められる性格のものではない。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
単位当たりコスト	本件は世界気象機関(WMO)、国際地震センター(ISC)の運営費の一部を分担する目的で支出するものであり、単位当たりのコストで効果を計るには経費の性格上なじまない。			算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	世界気象機関等分担金		685	607	・分担率の変更による減 ▲95百万円 ・為替レートの変動による増 15百万円			
	政府開発援助世界気象機関分担金		28	25				
	世界気象機関拠出金		29	30				
	計		743	662				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・国際機関の運営費の一部を分担する目的で支出するものであり、政策の優先度が高く、かつ、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・国際機関の運営費の一部を分担する目的で支出するものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・国際機関の運営費の一部を分担する目的で支出するものである。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>気象の予報に当たっては、世界中の気象データを迅速に集めて、その変化を予測する必要があるため、各国の気象機関はリアルタイムに国際的なデータ交換を行うことが必要である。このためには、国際機関による多国間の調整を行うのが効率的である。現在、各国気象機関は、世界気象機関(WMO)の定めた技術基準に沿って気象等の観測と予測のデータを交換している。これによって得られるデータは我が国にとっても、気象予報の精度維持・向上のために不可欠なものである。このため、本事業を継続する必要がある。</p> <p>平成22年6月に開催された世界気象機関(WMO)執行理事会において、我が国の分担率の引き下げが決定され、平成23年度以降の予算に反映された。世界気象機関については、引き続き、事務局に対し効率的な運営を求めている。</p> <p>国際地震センターについても、総会等を通じて事業の更なる効率的な運営を求めている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>世界気象機関(WMO)分担金における我が国の分担率が引き下げられた。</p> <p>引き続き、世界気象機関(WMO)の事務局等に対し積極的に関与し、事業の効率的な運営を求めべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>分担率の引き下げによる減引き続き、世界気象機関(WMO)の事務局等に対し積極的に関与し、事業の効率的な運営を求めた。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	512	平成23年	489	平成24年	520

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	世界気象機関分担金	725			
計		725	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際地震センター分担金	5			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	世界気象機関拠出金	30			
計		30	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界気象機関	世界気象機関活動経費	725	-	-
2	国際地震センター	国際地震センター活動経費	5	-	-
3	世界気象機関	世界気象機関活動経費	30	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-